
北海道とのタイアップ事業で4ヶ国語の翻訳が完成しました。

昨年から北海道が進めてきたタイアップ事業のうち、本学が担当したのは、赤れんが庁舎や庁舎内の展示物等に関する解説文の翻訳でした。

翻訳は英語、ロシア語、中国語、韓国語の4ヶ国語で、英語、ロシア語は日本人学生、中国語、韓国語は留学生（大学院生、4年生）が翻訳ボランティアを組織して昨年10月から作業を行ってきました。翻訳作業は日本人学生8人（英語担当4人、ロシア語担当4人）、留学生6人（中国語担当3人、韓国語担当3人）が行い、さらに、翻訳の質を確保するため本学の教員が監修にあたりました。

完成した翻訳文は1月19日に北海道へ提出します。